

「小金井市立保育園の在り方検討」支援委託プロポーザル 質問に対する回答

No.	質 問	回 答
1	<p>業務実施体制（様式4）に関して 本業務は、小金井市において長年検討されてきた案件を扱う業務であり、専門的な知見や経験等が必要とされるため、大学や各種の専門家、研究機関等の協力を得ながら進めたいと考えています。 その際、弊社以外の外部の協力者を業務実施体制の「業務担当者」として掲載してもよろしいですか。</p>	<p>業務実施体制の様式のとおり、業務責任者及び業務担当者は貴社所属を前提としております。 なお、提案の中で外部の協力者について触れていただくことは問題ございません。</p>
2	<p>検討委員会や市民ワークショップの開催回数の変更に関して 定められた期間内での業務の円滑な推進が、本業務で目指されるべきポイントであると認識しています。その一方で、業務の過程において、検討委員会や市民ワークショップに関して、当初の予定を上回る開催が必要となった場合等にも丁寧に対応していくことを基本にしたいと考えています。 その際、契約金額の追加等の措置は可能でしょうか。特に、市民ワークショップでは、ファシリテーター等の確保やプログラム等の再検討が必要となり多額の追加人件費が発生してしまうことから、当初の契約金額の見直し（追加）は不可欠であると考えます。</p>	<p>検討委員会や市民ワークショップの開催について、予定を上回るご提案は可能ですが、見積もり限度額は実施要領に記載のとおりです。現時点で、契約金額との追加等の措置は想定しておりません。</p>
3	<p>就学前児童へのインタビューに関して 仕様書（5）では、「インタビュー内容等について必要な助言を行い、インタビュー結果を（略）委員会運営に反映させること。」「対象園及び対象者の抽出、インタビューの実施は市が行う。」とあるが、プロポーザル評価点7では、「対象や実施方法が適切か」となっています。 プロポーザル評価点7の評価内容は「助言や反映方法が適切か」が正しいかと思いますが如何でしょうか。</p>	<p>ご指摘を受け、プロポーザル評点票項番7を次のとおり変更いたします。「就学前児童に対するインタビューについて、対象や実施方法に関する助言が適切か」</p>